

事業者 PRA モデルの確認のための質問

質問番号	適切性の確認項目	判断基準	確認のための質問
3-8-2	3. 炉心損傷 頻度評価 (1) 起回事象 の選定及び 発生頻度の 評価	<ul style="list-style-type: none"> 過去に発生した事例を分析し、起回事象を選定していること。 機器の抽出、故障の分析及びその影響を分析することで体系的な起回事象の選定ができる方法が使用されていること。 	部分的な外部からの給電喪失は、過渡事象に分類しているが、外部電源の信頼性が低くなっていることをどのように扱っているか提示ください。
3-23	① 起回事象 の選定	<ul style="list-style-type: none"> 起回事象を選定するため、プラントの設備を列挙し、各設備故障の影響を分析していること。 	起回事象の選定に関する参考文献について、近年の知見収集及び反映状況について提示ください。
3-24			外部電源喪失の原因の評価についての説明を提示ください。
3-25	(2) 成功基準の設定 ① 炉心損傷の定義	<ul style="list-style-type: none"> 解析の手法や内容に対応した炉心損傷を定義していること。 	炉心損傷の判定条件について解析コードやその内容に対応した判定条件を提示ください。
3-26			原子炉圧力容器バウンダリ破損の判定条件に係る根拠を提示ください。
3-27			格納容器が破損した場合の緩和手段の使用可能性についての根拠を提示ください。
3-28	② 成功状態の定義	<ul style="list-style-type: none"> プラントが十分安定している状態を成功の状態であると定義していること。 	設定した成功状態の定義についての考え方を提示ください。

質問番号	適切性の確認項目	判断基準	確認のための質問
3-29	③ 起因事象ごとの緩和機能	・必要な緩和機能が全て特定され、機能に要求される機器の組合せが全て特定されていること。	特定した緩和機能に要求される機器の組合せがすべて特定されていることを、どのように確認したか提示ください。
3-30			PRA でモデル化対象とする緩和設備の選定の考え方を提示ください。
3-31			炉心冷却に関する時間余裕の根拠を提示ください
3-32			格納容器熱除去に関する時間余裕の根拠を提示ください。
3-33			起因事象（過渡事象）の成功基準の設定根拠を提示ください。
3-34			起因事象（外部電源喪失）の成功基準の設定根拠を提示ください。
3-35			起因事象(格納容器内 LOCA) の成功基準の設定根拠を提示ください。
3-36			起因事象（格納容器外 LOCA) の成功基準の設定根拠を提示ください。
3-37			④ 熱水力解析を利用した成功基準の設定根拠
3-38	ATWS シーケンスの解析条件の根拠を提示くださ		

質問番号	適切性の確認項目	判断基準	確認のための質問
			い。
3-39			炉心冷却に関する解析条件の根拠を提示ください。
3-40			格納容器熱除去に関する解析結果を提示ください。
3-41			「インベントリ」、「その他」に関する解析結果を提示ください。
3-42			蒸気影響に関する解析結果を提示ください。
3-43			格納容器内 LOCA 破断面積の同定に関する解析の解析条件の根拠を提示ください。
3-44	⑤ 緩和操作開始までの余裕時間（許容時間）	・余裕時間は、炉心損傷までの時間、設備の準備に要する時間等を考慮して設定していること。	余裕時間の内訳（炉心損傷までの時間、緩和設備の準備にかかる時間等）を提示ください。
3-45	⑥ 緩和機能の継続を必要とする時間（使命時間）	・使命時間は、②の成功状態に至る時間を考慮して設定していること。	設定した使命時間の根拠を提示ください。